

チオファネートメチル水和剤 トップジン M 水和剤	取扱メーカー： 協友アグリ、クミカ、日農、北興、 日本曹達 原体メーカー： 日本曹達
成分： チオファネートメチル〔ベンズイミダゾール系 PRTR・1種〕…70.0%	性状： 淡褐色水和性粉末45 μ m以下 毒性： 普通物 消除法： ——

【品目特性】……………

- トップジンM粉剤DLの項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈果樹〉

- 広範囲の病気に有効な総合防除剤。また他剤との組み合わせ、あるいは混用による体系防除に使用できる。
- 果樹の白紋羽病に対し、灌注処理する場合は、樹幹部周辺の土壌を木の大きさに応じて掘り上げ、根を露出させて病根を丁寧に除去した後、所定濃度の希釈液を1本当り成木では200～300 ℓ 、苗木では20～30 ℓ 灌注する。

〈野菜〉

- かんしょ、さといもの種いも消毒後は水洗せずに薬液が乾いてから植付け。

〈豆類〉

- だいずの紫斑病には落花後から若莢期に2～3回散布する。紫斑病には種子消毒のみでは不十分なので、生育期の防除と組み合わせる。
- ハウスなどの常温煙霧用として使用する場合
 - 専用の常温煙霧機により、所定の方法で煙霧する。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては、病虫害防除所など関係機関の指導を受ける。
 - 作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上、できれば翌朝まで密閉する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- ボルドー液との混用はさける。
- かんきつの貯蔵病害防除に使用する場合は青かび病、緑かび病、軸腐病、黒斑病、灰色かび病に

は有効であるが黒腐病には効果が劣るので黒腐病防除が主体の場合は使用しない。また、収穫前3週間以内（かんきつ（みかんを除く）の場合には収穫前2～3週間の間）に1回散布すると効果的。

- チューリップの球根粉衣は植付前又は貯蔵前に球根1kgに対し本剤1gを均一に粉衣する。

- 麦の雪腐病防除に使用する場合は、散布量は10a当り100 ℓ を標準とし、なお、1回散布の場合はなるべく根雪近くに行うと効果的。

- 小麦の少量散布で使用する場合は、少量散布に適したノズルを装着した乗用型の手動式地上液剤散布装置を使用する。

- りんごの腐らん病防除に対する使用は生育期における病菌の感染侵入阻止を目的として散布するので、生育期の通年散布を行う。

- 大型散布機で使用する場合は各散布機種の散布基準に従って実施する。

- 水稻の種子消毒に使用する場合は

- 消毒後は水洗せずに浸種又は、は種する。
- 浸漬処理薬液の温度はなるべく10℃以下をさける。
- もみと浸漬処理薬液の容量比は1：1以上とし、種籾はサラン網などの目の粗い袋を用い、薬液処理時によくゆする。
- 低濃度（300～500倍）長時間浸漬の場合は、薬液浸漬処理中1～2回攪拌する。
- 処理を行った種子の浸種に当たっては次の注意を守る。

(i)薬剤処理した種籾は少なくとも数時間は放置して、風乾後浸種する。

(ii)浸種は停滞水中で行う。

(iii)浴比は1：2とし、水の交換は原則として行なわない。但し液温が高温の場合など、酸素不足になるおそれがある時は静かに換水する。

●いちごの萎黄病防除に使用する場合

○萎黄病多発地では浸漬処理、灌注処理のみでは効果の不十分な場合もあるので、植付前には土壌くん蒸を行い本剤処理との組み合わせで防除すると有効。

○灌注処理は土壌の種類や条件によって効果に差が認められるので特に初めて使用する場合には、注意する。

○萎黄病は土壌温度の高い時（20℃以上）に発生しやすいので、灌注処理は地温の高い仮植時期に行う。

○根部浸漬の場合は、浸漬時間が長く（所定時間以上）になると葉害（活着不良）を生じるおそれがあるので、処理時間を厳守する。

●いちごのうどんこ病防除に使用する場合

○株浸漬処理は、株冷蔵栽培いちごの定植時に、無病苗を得るため、冷蔵前に処理するもので、うどんこ病の発生まん延時期の防除とは異なるので注意する。

○浸漬処理薬液が葉裏まで十分付着するように薬液には展着剤を加用し、水洗した苗株を株全体がつかないように浸漬し、苗を薬液中で2～3回上下にゆする。

○処理した苗株は、水洗せずに半乾きとした後、ビニール袋に入れ、慣行に従って冷蔵する。

○冷蔵後、定植前の処理では、効果が劣ることがあるので、必ず冷蔵前に処理する。

●連用によって一部の病害に耐性菌を生じ、効果の劣った事例があるので、過度の連用をさけ、作用性の異なる他の薬剤と組み合わせて、輪番で使用する。

●アスパラガスの茎枯病の防除は収穫打ち切り後、残茎を取り除き、新しく萌芽した茎を対象とする。

●れんこんに使用する場合、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。

●いちじくに対して灌注処理する場合

○1カ月間隔で使用することが望ましい。

○生育抑制などの葉害を生じるおそれがあるので、ポット栽培などの根域が抑制される栽培条件での使用はさける。

●たばこの親床での処理はは種後10日目から1週間間隔で、子床での処理は仮植後7日目から1週間間隔で薬液を散布する。

●適用作物（りんご、ぶどう、いちご）の葉害などの注意は「葉害注意事項解説」を参照。

●共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。また、桑に使用後3日間は蚕に給餌しない。

●魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意。

●水稻の種子消毒に使用した場合、また、かんしょ、さといもの種いも消毒に使用した場合、薬剤処理した種子、種いもは食料、飼料に使用しない。

●空中散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。



【適用と使用法】.....

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数			
み か ん	そうか病	30倍	8 ℓ	4～6月	5回以内	空中散布	8回以内 (塗布は3回以 内、散布、空 中散布及び無 人航空機散布 は合計5回以 内)			
	灰色かび病 そうか病	1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	前日まで		散布	8回以内 (塗布は3回 以内、散布は 5回以内)			
	かんきつ (みかん を除く)	貯蔵病害 (軸腐病) 貯蔵病害 (青かび病) 貯蔵病害 (緑かび病)					2000～ 3000倍	10回以内 (塗布は3回 以内、灌注は 1回以内、散 布は6回以内)		
り ん ご		黒星病 うどんこ病 黒点病 褐斑病			1000～ 2000倍		6回以内			
	腐らん病 モニリア病 (実腐れ) 輪紋病 すす点病 すす斑病	1000～ 1500倍								
	白紋羽病	500～ 1000倍			—	休眠期～ 生育期			1回	灌注
	な し	黒星病 うどんこ病			1000～ 2000倍	200～ 700 ℓ			前日まで	6回以内
腐らん病		1000倍								
輪紋病 心腐れ症 (胴枯病菌) 胴枯病		1000～ 1500倍			—	休眠期	1回	灌注		
白紋羽病		500～ 1000倍								
マルメロ かりん		腐らん病			1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	前日まで	6回以内	散布	9回以内 (塗布は3回 以内、散布は 6回以内)
か き	うどんこ病 炭疽病 落葉病 黒星落葉病 すす点病	10回以内 (塗布は3回以 内、休眠期の散 布は1回以内、 生育期の散布 は6回以内)								
	も も		灰星病 黒星病 ホモブシス腐敗病							
			枝折病 うどんこ病	1000倍						

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数
ぶ ど う	灰色かび病 褐斑病 うどんこ病 黒とう病	1000～ 2000倍	200～ 700 ℓ	45日前 まで	1 回	散布	5 回以内 (塗布は3回 以内、休眠期 の散布は1回 以内、生育期 の散布は1回 以内)
	晩腐病 芽枯病	1000倍		14日前 まで	3回以内		6回以内 (塗布は3回 以内、散布は 3回以内)
	苦腐病	1000～ 1500倍					7回以内 (塗布は3回 以内、散布は 3回以内、灌 注は1回以内)
お う と う	灰星病 せん孔病 幼果菌核病	1000～ 1500倍	—	収穫後(7 月上旬～ 9月上旬)	1 回	灌注	
び わ	ごま色斑点病	800倍	—	収穫後(7 月上旬～ 9月上旬)	1 回	灌注	
	灰斑病	800～ 1000倍					
	白紋羽病	300～ 500倍					
小粒核果類	灰星病 環紋葉枯病 葉炭疽病 黒星病 黒粒枝枯病	1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	21日前 まで	3回以内	散布	すももは6回 以内 (塗布は 3回以内、休 眠期の散布は 1 回以内、生 育期の散布 は3回以内)、 その他の小粒 核果類は6回 以内 (塗布は 3回以内、散 布は3回以内)
	黒葉枯病	1000倍		7日前 まで	5回以内		14回以内 (塗布は3回 以内、灌注は 6回以内、散 布は5回以内)
いちじく	黒かび病 そうか病	1000～ 1500倍	1～10 ℓ /株				6回以内
	株枯病	500倍					
キウイフルーツ	果実軟腐病	1000倍	200～ 700 ℓ	前日まで	5回以内	散布	8回以内 (塗布は3回 以内、散布は 5回以内)
あ け び (果実)	うどんこ病			7日前 まで	3回以内		3回以内
オ リ ー ブ	梢枯病			30日前 まで	2回以内		5回以内 (塗布は3回 以内、散布は 2回以内)
く り	実炭疽病			3日前 まで	4回以内		7回以内 (散布は4回 以内、塗布は 3回以内)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数
りんご(苗木) なし(苗木)	白紋羽病	500倍	—	植付前	1回	10分間 根部浸漬	6回以内
もも(苗木)							7回以内 (散布は6回 以内)
桑(苗木)							3回以内
水 稲	ばか苗病	300～ 500倍		は種前 (浸種前 又は浸種 後)		6～24時間 種子浸漬	3回以内 (種子への処 理は1回以内)
		30倍				10分間 種子浸漬	
小 麦	雪腐病	1000～ 2500倍	60～ 150 ℓ	根雪前	3回以内 (出穂期 以降は2 回以内)	散布	4回以内 (種子への処 理は1回以内、 散布及び無人 航空機散布は 合計3回以内、 出穂期以降は 2回以内)
	雪腐大粒菌核病	1000倍	25 ℓ				
	赤かび病	250～ 500倍		14日前 まで			
		250倍	60～ 150 ℓ				
	うどんこ病	1000～ 1500倍					
	眼紋病	1000～ 2000倍					
麦 類 (小麦を除く)	雪腐病	1000～ 2500倍		60～ 150 ℓ	根雪前	3回以内 (出穂期 以降は1 回以内)	3回以内 (種子への処 理は1回以内、 出穂期以降は 1回以内)
	赤かび病	1000～ 1500倍	30日前 まで				
	うどんこ病	1000～ 2000倍					
	眼紋病	1000倍					
だ い ず	紫斑病	種子重量 の0.5%	—	は種前	1回	粉衣	4回以内 (種子への処 理は1回以内)
		700～ 1500倍	100～ 300 ℓ	14日前 まで	4回以内	散布	
	菌核病	700～ 1000倍					
あ ず き	菌核病 輪紋病 炭疽病			7日前 まで			
	いんげんまめ						角斑病 菌核病 苗立枯病
炭疽病		700～ 1500倍		前日まで	3回以内		4回以内 (種子への処 理は1回以内、 は種後は3回 以内)
えんどうまめ	褐紋病	1500～ 2000倍					
実えんどう さやえんどう	褐斑病 灰色かび病	2000倍					
え だ ま め	菌核病			7日前 まで			

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数			
らっかせい	褐斑病 黒渋病 灰色かび病	1500～ 2000倍	100～ 300 ℓ	7日前 まで	4回以内	散布	5回以内 (種子への処 理は1回以内、 は種後は4回 以内)			
	そうか病 茎腐病	1500倍			5回以内		5回以内			
やまのいも やまのいも (むかご)	葉渋病 炭疽病	800倍		45日前 まで				5回以内		
ばれいしょ	菌核病	1000～ 1500倍		7日前 まで		5回以内 (種いもへの処 理は1回以内)				
かんしょ	黒斑病	200～ 500倍	－	植付前	1回	20～30 分間種い も又は苗 茎部浸漬	1回			
さといも さといも(葉柄)						20～30 分間種い も浸漬				
キャベツ	根朽病	1000倍	100～ 300 ℓ	3日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (種子への処 理は1回以内、 は種後は2回 以内)			
	菌核病	1000～ 1500倍					3回以内 (種子への処 理は1回以内、 は種後は2回 以内)			
はくさい	白斑病	1500倍	100～ 300 ℓ	7日前 まで				2回以内	散布	3回以内 (種子への処 理は1回以内、 は種後は2回 以内)
	カリフラワー	菌核病		1500～ 2000倍						
ブロッコリー	2000倍			14日前 まで						
非結球レタス	菌核病 灰色かび病	1500～ 2000倍		21日前 まで						
せり	葉枯病	1500倍		14日前 まで						
食用べにばな (花)	炭疽病			28日前 まで						
食用ぎく	褐斑病			60日前 まで						
セルリー	斑点病			14日前 まで 但し、伏 せ込み栽 培は伏せ 込み前ま で						
みつば	菌核病	2000倍		30日前 まで						
みしまさいこ	炭疽病	1000倍		30日前 まで						
食用ゆり	鱗茎さび症	50倍		－						

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数		
レ タ ス	菌核病 灰色かび病 すそ枯病	1500～ 2000倍	100～ 300 ℓ	7日前 まで	2回以内	散布	4回以内 (種子への処 理は1回以内、 灌注は1回以 内、散布は2 回以内)		
	ビッグベイン病 菌核病	1500倍		45日前 まで	1回	灌注	2回以内 (種子への処 理は1回以内、 は種後は1回 以内)		
に ら	白斑葉枯病 乾腐病	1000倍	3 ℓ / m ²	21日前 まで					
メ ロ ン	つる枯病 陥没病	1500～ 2000倍	100～ 300 ℓ	前日まで	3回以内	散布	5回以内 (種子への処 理は1回以内、 塗布は1回以 内、散布は3 回以内)		
か ぼ ち や	白斑病	1000倍			5回以内			6回以内 (種子への処 理は1回以内、 は種後は5回 以内)	
す い か	炭疽病 菌核病	1500～ 2000倍							
	き ゆ う り								菌核病 黒星病 炭疽病 うどんこ病 灰色かび病 つる枯病
う り 類 (漬 物 用)									炭疽病 うどんこ病 灰色かび病 つる枯病
									に が う り
ト マ ト ミニトマト	葉かび病 灰色かび病 菌核病								
な す	黒枯病 灰色かび病 菌核病								
アスパラガス	茎枯病 立枯病								1000倍
て ん さ い	褐斑病	2000～ 3000倍		7日前 まで					
ピーマン	黒枯病	4000～ 6000倍		前日まで					
ズッキーニ	うどんこ病	1500倍							
オ ク ラ	葉すす病								

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数
い　ち　ご	うどんこ病	1500倍	100～ 300 ℓ	収穫開始 21日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (種子への処 理は1回以内、 は種後は3回 以内)
		1000倍	—	株冷蔵栽 培の株冷 蔵前		5分間株 浸漬	
	萎黄病	300～ 500倍	3 ℓ / m ²	仮植前		1時間苗 根部浸漬	
				仮植時及 び仮植栽 培期		灌注	
ね　　　ぎ	小菌核腐敗病	1000倍	100～ 300 ℓ	7日前 まで	1回	散布	5回以内 (種子への処 理は1回以内、 苗根部浸漬及 び苗床灌注は 合計1回以内、 散布及び株元 散布は合計3 回以内)
		250倍	チェーン ポット1 冊 (30 ×60cm、 土壌量約 5 ℓ) 当 り0.5～ 1 ℓ	定植直前		苗床灌注	
						3分間苗 根部浸漬	
	萎凋病 小菌核腐敗病	20倍	—			30分間苗 根部浸漬	
		200倍					
たまねぎ	小菌核病	500～ 1000倍	100～ 300 ℓ	前日まで	6回以内 (但し定 植後は5 回以内)	散布	7回以内 (種子への処 理は1回以内、 苗根部浸漬は 1回以内、無人 航空機散布は 3回以内、散布 は5回以内)
	灰色腐敗病					500倍	
た　ら　の　ぎ	芽枯症	2000倍	0.1～0.3 ℓ / m ²	伏せ込み 後萌芽前 但し、 収穫21 日前まで	1回	駒木散布	3回以内 (伏せ込み前 は2回以内、 伏せ込み後は 1回以内)
	そうか病	1500倍	200～ 700 ℓ	伏せ込み 前 但し、 収穫60 日前まで	2回以内	散布	
らっきょう	乾腐病	1000倍	700ml/ m ²	7日前 まで	3回以内	株元灌注	3回以内
し　し　と　う	黒枯病	10000倍	100～ 300 ℓ	前日まで		散布	
れ　ん　こ　ん	褐斑病	1500倍					
葉たまねぎ	黒点葉枯病	1000倍					

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数						
甘 草	株枯病	200倍	—	植付前	1 回	30分間 苗浸漬	1 回						
し ょ う が	いもち病 白星病	1000倍	100～ 300 ℓ	7日前 まで	2回以内	散布	2回以内						
な た ね	菌核病			21日前 まで	3回以内 (開花後は 2回以内)		3回以内 (開花後は2 回以内)						
	雪腐菌核病			根雪前									
茶	炭疽病 白星病 褐色円星病 輪斑病	1500～ 2000倍	200～ 400 ℓ	摘採7日 前まで	1 回		1 回						
	黒葉腐病	1500倍											
まめ科牧草	菌核病	2000倍	100～ 300 ℓ	根雪前	2回以内		2回以内						
いね科牧草	雪腐大粒菌核病	1500～ 2000倍		—	5回以内		5回以内						
ば ら	うどんこ病 黒星病												
	シクラメン							灰色かび病					
ゆ り	葉枯病 茎腐病												
	き く							褐斑病					
さくらそう	灰色かび病												
カーネーション	芽腐病												
けいとう	茎腐病 輪紋病												
	ほおずき きんせんか						半身萎凋病						
りんどう	花腐菌核病	1500倍											
チューリップ	球根腐敗病	球根重量 の0.1%	—	植付前又 は貯蔵前	1 回	球根粉衣	5回以内						
べにばな	炭疽病	1500倍	100～ 300 ℓ	—	2回以内	散布							
観賞用アス パラガス	茎枯病	500～ 1000倍											
花 き 類・ 観 葉 植 物	菌核病	1500倍											
樹 木 類 (つつじ類, かし, さくら, じんちょうげ, ぼけ, ポプラ, いぬつげを 除く)	炭疽病	1000～ 2000倍	200～ 700 ℓ	発病初期	5回以内								
	うどんこ病 ごま色斑点病 輪紋葉枯病 斑点症 (シュード サーコスボラ菌)	1000倍											
つつじ類	褐斑病	1000～ 1500倍	100～ 300 ℓ										
	炭疽病	1000～ 2000倍											
	うどんこ病 ごま色斑点病 輪紋葉枯病 斑点症 (シュード サーコスボラ菌)	1000倍											

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数				
さくら	幼果菌核病	1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	発病初期	5回以内	散布	5回以内				
	炭疽病	1000～ 2000倍									
	うどんこ病 ごま色斑点病 輪紋葉枯病 斑点症（シュード サーコスボラ菌）	1000倍									
かし	炭疽病	1000～ 2000倍	100～ 300 ℓ					5回以内	散布	5回以内	
	紫かび病 うどんこ病 ごま色斑点病 輪紋葉枯病 斑点症（シュード サーコスボラ菌）	1000倍									
	炭疽病	1000～ 2000倍									
じんちょうげ	炭疽病	1000～ 2000倍	100～ 300 ℓ					5回以内	散布	5回以内	
	黒点病 うどんこ病 ごま色斑点病 輪紋葉枯病 斑点症（シュード サーコスボラ菌）	1000倍									
	炭疽病	1000～ 2000倍									
ぼけ	炭疽病	1000～ 2000倍	1000倍					200～ 700 ℓ	5回以内	散布	5回以内
	褐斑病 うどんこ病 ごま色斑点病 輪紋葉枯病 斑点症（シュード サーコスボラ菌）	1000倍									
	炭疽病	1000～ 2000倍									
ポプラ	炭疽病	1000～ 2000倍	1000倍	200～ 700 ℓ	5回以内	散布	5回以内				
	マルゾニナ落葉病 うどんこ病 ごま色斑点病 輪紋葉枯病 斑点症（シュード サーコスボラ菌）	1000倍									
	炭疽病	1000～ 2000倍									
いぬつげ	炭疽病	1000～ 2000倍	1000倍	200～ 700 ℓ	5回以内	散布	5回以内				
	枝枯病 うどんこ病 ごま色斑点病 輪紋葉枯病 斑点症（シュード サーコスボラ菌）	1000倍									
	炭疽病	1000～ 2000倍									
たばこ (苗 床)	腰折病	1000～ 2000倍	2 ℓ / m ²	苗床期	2回以内	散布	2回以内				
	黒根病	1000倍									

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数
桑	裏うどんこ病 汚葉病	1000～ 2000倍	100～ 300 ℓ	－	3回以内	散布	3回以内
	輪斑病	1000～ 1500倍					

作物名	適用場所	適用病害名	10 a 当り使用量		使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数
			使用量	使用液量				
トマト	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	灰色かび病	100～ 200 g	5 ℓ	前日 まで	5回 以内	常温 煙霧	6回以内 (種子への処理は1回以 内、は種後は5回以内)